

「選挙10年スコープ」、第51回衆院総選挙に向け衆議院議員の情報を更新

～アクセス集中でも落ちにくい仕組みへ刷新、会派（党派）別に探しやすく、スマホでも読みやすく～

報道関係者各位

プレスリリース

2026年1月28日

株式会社自動処理

株式会社自動処理（本社：東京都中央区、代表取締役：高木祐介）は、国会議員の過去10年間の活動実績をAIで可視化する無料Webサービス「選挙10年スコープ」（<https://www.10yes.jp/>）において、2026年1月27日公示・2026年2月8日投票の第51回衆議院議員総選挙に向け、衆議院議員の情報を更新したことをお知らせします。

本サービスは、国会会議録や公開データ等の公開情報をAIで整理し、議員・候補者を「過去の実績」から比較・理解できる判断材料の提供を目指しています。直近10年間の議員の活動とマニフェストを照らし合わせどんな活動を行ってきたのかをAIを利用して可視化するサイトです。※本衆院選でのマニフェストではなく、前回の議員のマニフェストとこれまでの活動を比較するサイトです。

今回の更新（主なポイント）

衆議院議員データの更新（第51回衆院総選挙に向けて）

- ・ 会派（党派）ごとに候補者を探しやすい導線へ（一覧性・到達性を改善）
- ・ アクセス集中を前提とした安定稼働設計へ（前回の反省を踏まえた耐負荷強化）
- ・ PC・スマホ双方での可読性を改善（短期間でも“すぐ探せる”体験へ）
- ・ 投票日まで毎日、政治ニュースのまとめを掲載（2/8まで継続予定）
- ・ 本日より毎日、現閣僚（および主要人物）の再調査を実施し、順次反映予定

Q Search
衆議院議員 自由民主党 (あ行～な行)
衆議院議員 自由民主党 (は行～わ行)
衆議院議員 中進改革連合 (あ行～な行)
衆議院議員 中進改革連合 (は行～わ行)
衆議院議員 日本維新の会
衆議院議員 国民民主党
衆議院議員 れいわ新選組
衆議院議員 日本共産党
衆議院議員 有志・改革の会
衆議院議員 参政党
衆議院議員 減税日本・ゆうこく連合
衆議院議員 日本保守党
衆議院議員 無所属
参議院議員 自由民主党 (あ行～な行)
参議院議員 自由民主党 (は行～わ行)
運営にお問い合わせ

高市早苗議員の政治活動総覧（2015–2025）

概要

高市早苗（たかいち さなえ）は自由民主党所属の衆議院議員で、奈良県第2区選出、現在10期目を務めるベテラン政治家です¹⁾。

1961年3月7日生まれの高市氏は松下政経塾出身で、神戸大学卒業後に1993年の衆院選で初当選しました²⁾。当初は新進党などを経て1996年に自民党入りし、以降一貫して保守路線を歩んできました。

党内では無派閥ながら安倍晋三元首相に近い立場で、「安倍路線の継承者」と目される保守タカ派の論客です³⁾。在職中は総務大臣や経済安全保障担当大臣、党政調会長など要職を歴任し⁴⁾、特に安全保障や高度技術政策に明るい政治家として知られます。

2015年から2025年にかけての分析対象期間、高市氏は第2次安倍改進黨内閣以降の歴代政権で閣僚や党執行部を務め、存在感を発揮してきました。2015年時点では総務大臣（安倍内閣）として行政の要を担い、その後も2019年に再び総務相、2022年には岸田内閣で経済安全保障担当相に就任するなど、政府中枢で政策遂行に当たりました⁵⁾。

2021年9月には党総裁選に初挑戦し、安倍氏の後押しもあって善戦（党所属国会議員票で河野太郎氏を上回り2位）しました⁶⁾。さらに2024年9月の総裁選では1回目投票でトップとなる支持を集めるも、決選投票で石破茂氏に逆転され惜敗しました⁷⁾。

2024年10月に石破政権が発足した後、高市氏は閣外に去りましたが、党治安・テロ対策調査会長といった役職に就き、保守政策の旗振り役を続けています⁸⁾。

本レポートでは、2015年から2025年7月までの高市氏の政治活動を詳述し、公約や発言、立法活動の成果を多角的に検証します。有権者が高市氏の歩みを正當に評価できるよう、事実にもとづき包括的に分析することを目的としています。

1. 選挙公報・マニフェスト分析

高市氏は直近の衆院選（2024年10月実施）において、「日本を守る。未来を拓く。」という力強いスローガンを掲げて戦いました⁹⁾。この標語が示す通り、高市氏のマニフェストの柱は、安全保障と経済発展の両立でした。

主要政策項目

具体的には、以下の3つの柱が前面に出されています：

(1) 国家の安全を守る政策

防衛力の抜本強化や経済安全保障の推進、災害対策の強化など¹⁰⁾

議員詳細

2026衆院選リサーチ | 選挙10年スコープ

このサイトについて FAQ 政治ニュースまとめ

Q Search

衆議院議員 自由民主党 (あ行～な行)

衆議院議員 自由民主党 (は行～わ行)

衆議院議員 中進改革連合 (あ行～な行)

衆議院議員 中進改革連合 (は行～わ行)

衆議院議員 日本維新の会

衆議院議員 国民民主党

衆議院議員 れいわ新選組

衆議院議員 日本共産党

衆議院議員 有志・改革の会

衆議院議員 参政党

衆議院議員 減税日本・ゆうこく連合

衆議院議員 日本保守党

衆議院議員 無所属

参議院議員 自由民主党 (あ行～な行)

参議院議員 自由民主党 (は行～わ行)

運営にお問い合わせ

政治家分析プラットフォーム

選挙10年スコープ

国会議員の10年間の実績をAIで可視化
このサイトは、第51回衆議院議員総選挙（2026年2月8日）に向けて、有権者の皆様により良い判断材料を提供することを目的としています。
調査した日付はリアルタイムではないため、その点ご注意ください。2025年6月から12月にかけて調査した結果を順次公開しています。

■本サイトの特長

・各衆議院議員の過去10年間の活動実績をAIが分析

・国会での発言回数、質問回数、法案提出数などを数値化

・政策分野別の活動状況を可視化

・客観的なデータに基づいた評価を提供

■使い方

議員名をクリックすると、その議員の詳細な活動データをご覧いただけます。

本サイトはAIで何ができるのかを示すためのPRサイトです。

■ご注意

AIで何をまとめるべきか検討し、AIに任せて自動で収集した記事としてまとめています。手が入らない事で意図的な編集がされない代わりに、誤りがある場合があります。その為、当サイトでは分析後、ファクトチェックを行っています。記事内容については方向性はほとんどのケース正しいと考えていますので、候補者の行動の判断する段階には十分であると考えていますが、詳細内容については誤りがある場合がありますので、ご注意ください。

使いやすさの改善：会派別に探しやすい、スマホでも読みやすく

選挙期間は情報収集の時間が限られます。そこで今回、会派（党派）別の導線を強化し、目的の候補者に素早く辿り着ける構成へ見直しました（大規模会派は五十音分割等）。

会派（党派）別に候補者へ到達できるトップページ（PC表示）



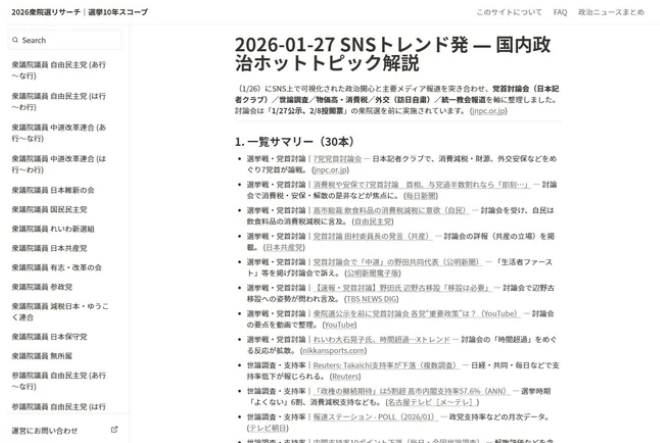
会派（党派）別一覧（PC／スマホ両対応）

通勤中・自宅・投票所へ向かう途中でも確認できるよう、レスポンス対応を前提に表示・導線を調整しています。

会派（党派）別一覧（PC／スマホ両対応）

アクセス集中でも“見られる”ことを前提にした設計へ

前回の選挙期にアクセスが集中し、閲覧が不安定になった反省を踏まえ、今回の衆院総選挙に向けてはアクセス増を前提とした構成へ刷新しました（議員検索機能を除いて、静的ファイル化を行いリクエスト時にプログラムの実行が発生しない設計にしました）。



選挙期間中の情報支援：2/8まで毎日「政治ニュースまとめ」を掲載

投票までの短い期間でも、候補者理解に必要な“論点”へ素早く辿り着けるよう、当サイトでは投票日（2/8）まで毎日、国内政治ニュースのまとめを掲載し続ける予定です。トップから「政治ニュースまとめ」へアクセスできます。

政治ニュースまとめ（SNSトレンドも手がかりに論点を整理）

2. テーマ別深掘り

テーマ別深掘り機能

A. 党首討論会が“争点の棚卸し”になった（消費減税×財源、外交安保×現実路線）

日本記者クラブの7党首討論会は、**消費税減税（期間・対象・財源）**と、**外交・安全保障**を二大軸に「同じ言葉（減税）でも設計が全く違う」ことを可視化しました。[\[npsc.or.jp\]](https://npsc.or.jp)

加えて、討論会そのものの“見せ方”がSNSで増幅され、れいわ大石氏の時間超過が話題化するなど、政策論点と並行して「討論の振る舞い」が評価対象になっています。[\[nikkansports.com\]](https://nikkansports.com)

キーポイント（政策・審議スケジュール）

- 選挙日程は討論会の会見メモでも明示（1/27公示、2/8投開票）。[\[npsc.or.jp\]](https://npsc.or.jp)
- 減税は“実施要件”（超党派協議の場を置く／法案提出の条件）まで含めて争点化。[\[Nippon\]](https://nippon.com)

生活インパクト試算（目安）

- 食料品の消費税が仮に「0%」になった場合、月6万円（税8%込み）の食費だと税相当分は約4,400円/月（6万円÷1.08≒55,556円、差分≒4,444円）。年換算で約5.3万円の負担減が目安。
 - 実際の効果は「どこまでが対象か」「期間」「財源（他の負担増の有無）」で変動。

B. “支持率が高いが下向き”が最大の構図（世論の焦点は物価高、選挙時期評価は割れる）

複数調査で内閣支持率が下落したと報じられ、タイミング（予算前の解散・総選挙）への評価も分かれています。[\[Reuters\]](https://reuters.com)

一方で、選挙で重視される政策は「景気・物価高対策」が上位に置かれており、減税への支持も強い、という形で“争点の優先順位”は比較的はっきりしています。[\[名古屋テレビ「メ〜テレ」\]](https://mainichi.jp)

キーポイント（今後の見立て）

- “首相個人の支持”と“与党・政党支持”のギャップがある場合、選挙では候補者・選挙区事情でブレやすい（ロイターは複数世論調査の変化を整理）。[\[Reuters\]](https://reuters.com)
- SNS側では「与党過半数割れ」など選挙結果シナリオがトレンド化し、先読み需要が強い。[\[getdaytrends\]](https://getdaytrends.com)

政治ニュースまとめその2 ホットトピックをまとめて情報提供

加えて、**本日より毎日、現閣僚の再調査**を実施し、政治家レポートの理解補助としても活用できるよう、順次反映を進めます。

背景：投票は“人を選ぶ”行為。だから「その人の過去」が見える形に

選挙報道は党首討論や話題性の高い発言に寄りやすく、各選挙区の候補者個人が「過去10年何をしてきたか」に触れる機会は、意識して取りに行かない限り多くありません。

私たちは、投票が本来「人を選ぶ」行為である以上、候補者の“職歴”にあたる実績が、誰にとっても同じように参照できる状態が重要だと考えています。

情報の中立性と透明性への考え方

全議員を同一基準で整理・可視化し、メディア露出の多寡に左右されない情報提供を目指します。

収集・整理はAIを活用し、**意図的な編集が入りにくい運用**を志向しています（その一方で誤りの可能性があるため、分析後のファクトチェックも実施）。

本サービスは**完全無料・登録不要**で、広告収入やスポンサーシップも現時点では受けていません。

本サービスは特定の政党・候補者を支持するものではなく、公開情報の整理・可視化を目的としています。

代表コメント

株式会社自動処理 代表取締役 高木祐介

投票までの期間が短い今回の選挙だからこそ、投票前に“候補者が何をやってきた人なのか”を理解して選んでほしいと思っています。前回のアクセス集中の反省を踏まえ、必要な時に必要な人が見られるよう、落ちにくい仕組みと探しやすいUIに改修しました。事実に基づいた納得感のある投票の一助になれば幸いです。

サービス情報

サービス名：選挙10年スコープ

URL： <https://www.10yes.jp/>

利用料：無料／登録不要



株式会社自動処理

会社名：株式会社自動処理

所在地：〒104-0054 東京都中央区勝どき2-4-12 小倉ビル301

代表者：高木祐介

URL: <https://automation.jp/>

設立：2010年5月19日

事業内容：AI技術の研究開発、システム開発、技術コンサルティング

サイト情報

サイト名：選挙10年スコープ（2025参院選 | 候補者の10年をAIで比較）

URL： <https://10yes.jp/>

サービス開始：2025年6月

自動処理のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/67480